

# KODAK TRENDSETTER

Q400/Q800 PLATESETTER



卓越した安定性と信頼性、そして高い品質を提供



# 新しいビジネスの課題解決に理想的なソリューション

KODAK TRENDSETTER Q400 / Q800 プレートセッターは、印刷ビジネスが直面する様々な課題につねに対応しながら、進化を続けてきた最良のサーマルCTPソリューションです。1995年の誕生から25年以上にわたって世界中の数多くのお客様を支えてきたKODAKのサーマルCTPテクノロジーをベースに、「自動化の強化」「高速化による生産性拡大」「大幅な省電力化」など最新機能も追加して、ビジネスの新たな課題にも適応すべく成長を遂げています。KODAKのベストセラーモデルであると同時に最新技術を惜しみなく投入した理想的なプレートセッター…それがTRENDSETTERです。



**KODAK**  
**SQUARESPOT**  
IMAGING  
TECHNOLOGY

動画はこちら



## 柔軟性・生産性をさらに高める先進のオートメーション

プリプレス工程を自動化し、スループットと生産効率を最適化すれば、省力化・コスト削減という経営課題の解決につながります。TRENDSETTER プレートセッターには、幅広いビジネスニーズを満たす豊富な自動化オプションが用意されています。



### セミオート(SA)モデル

手差しで1枚ずつ給排版を行うスタンダードモデル。



### オートアンローダー (AU) モデル

手差しでプレートをセットし、露光後は本体背面のテーブルに排出し、自動現像機またはスタッカーに自動搬送。(オプションでアンロード時に90度回転可能)



### オートローダー (AL) モデル

オートローダーユニットに合紙を取り除いたプレート(0.3mm厚)を最大83枚まで収容でき、給排版を完全自動化。(オプションでアンロード時に90度回転可能)



### シングルカセットユニット(SCU)モデル

同じサイズの合紙付きプレート(0.3mm厚)を最大120枚セットでき、給排版を完全自動化。さらにトローリーオプションを使えば、版の補充や交換も容易。(オプションでアンロード時に90度回転可能)



### マルチカセットユニット(MCU)モデル

標準で2カセット・240枚、オプションで最大4カセット・480枚までの合紙付きプレート(0.3mm厚)を収容でき、給排版を完全自動化。各カセットにはそれぞれ異なるサイズのプレートが収容でき、プレートサイズもジョブ定義に従って自動選択されるため、長時間の完全無人運転が可能。(オプションでアンロード時に90度回転可能)

動画はこちら



### DITR フィルムオプション

フィルム出力兼用機として運用でき、スクリーン製版やアナログPS版、樹脂凸版、フレキシソ製版などフィルムを必要とする様々な製版分野のニーズに対応。



### マニュアルバイパス機能

サイズの違うプレートを手動で素早くセットして出力できるため、割り込みや急ぎの仕事に柔軟に対応可能。

※AL、SCU、MCUに標準装備



### インラインパンチオプション

最大10個のパンチヘッドが搭載でき、多種多様な印刷機に対応可能。

※AU、AL、SCU、MCUに装備可能

### 生産性のさらなる向上

最大で4種類・480枚のプレートが収容可能なマルチカセットユニット(MCU)モデルなら、長時間の連続自動運転が可能。さらに新開発のWスピードオプションを搭載すれば、TRENDSETTER Q400で毎時75版、TRENDSETTER Q800で毎時64版の高速出力が可能になります。このWスピードオプションはフィールドアップグレードも可能なため、ビジネスの成長にあわせて生産性を高めることができます。

### 環境負荷を大幅に低減

KODAK SONORAプロセスフリー プレートとの組み合わせによって、環境負荷の低減が可能。現像処理工程をなくすことで、環境への影響を完全に排除できます。またTRENDSETTERは、新しいレーザー冷却システムの採用により、イメージング中の消費電力をわずか770Wに抑え、従来の当社製品と比べて30%、一部の競合他社製CTPと比べて最大90%の電力削減に成功しています。

### 省スペース・コンパクト設計

省スペース・コンパクト設計のため、設置スペースの確保に困ることはありません。ボディが小さければ、輸送の手間とコストも削減できます。MCUモデルを例にとると、競合他社の同等ソリューションより最大で65%の省スペース化が図られています。

### クラス最高性能のイメージングテクノロジー

定評あるKODAK SQUARESPOTイメージングテクノロジーを搭載し、プレート乳剤の感度や自動現像機の変動、レーザー出力に関係なく、つねに安定した露光精度を実現しています。再現性、精度、見当性にも優れているため、再出力時の機械調整の手間やコストも確実に削減できます。また完全無処理CTPプレートSONORAとの組み合わせにより、現像処理工程の変動要素もなくなるため、印刷品質のさらなる向上が期待できます。

### モバイルによる遠隔監視と操作

オプションのKODAK Mobile CTP Control Appを使えば、スマートフォンやタブレット端末(Android・iOS対応)から、TRENDSETTERをリモートで監視・制御できます。刷版室が無人でもCTPの稼働状況やジョブの進捗状態が把握できるほか、キュー内の出力ファイルの再出力も可能です。

動画はこちら



完全無処理CTPプレートSONORAとの組み合わせは環境負荷を軽減する最良のソリューション



# KODAK TRENDSETTER Q400 / Q800 プレートセッター

一般仕様		
テクノロジー	KODAK SQUARESPOT イメージングテクノロジー、830nm 赤外線レーザー、外面ドラム方式	
インラインパンチ オプション <sup>※1</sup>	<ul style="list-style-type: none"><li>最大 10 個のパンチヘッドを搭載可能</li><li>各パンチの運用はワークフローのジョブ定義に従って自動的に選択</li><li>出力されるプレートの先頭側にパンチ加工</li><li>パンチ基準は自動センタリング方式</li></ul>	
対応メディア	KODAK サーマルプレート、KODAK DITR フィルム 他	
パフォーマンス仕様		
	TRENDSETTER Q400	TRENDSETTER Q800
生産性 <sup>※2-3</sup> (出力版数／時、2,400dpi)	<b>SA / AU モデル</b> F スピード：毎時 30 版    X スピード：毎時 43 版 <b>AL / SCU / MCU モデル</b> F スピード：毎時 35 版    X スピード：毎時 54 版 W スピード：毎時 75 版 ※ プレートサイズ 560×670 mm （ドラム円周方向 × 軸方向）の場合	<b>SA / AU モデル</b> F スピード：毎時 22 版    X スピード：毎時 34 版 <b>AL / SCU / MCU モデル</b> F スピード：毎時 24 版    X スピード：毎時 42 版 W スピード：毎時 64 版 ※ プレートサイズ 800×1,030 mm （ドラム円周方向 × 軸方向）の場合
再現性（繰り返し精度）	同一版への 2 重露光で ±5 ミクロン	
出力精度	同一装置で出力した 2 枚のプレート間で ±20 ミクロン	
見当精度	露光イメージとプレートエッジ間で ±25 ミクロン	
ワークフロー製品との接続	TIFF ダウンローダーソフトウェアを搭載した KODAK プリントコンソールを標準で付属 KODAK PRINERGY ワークフローシステム及びほとんどのサードパーティ製ワークフローシステムとの接続が可能 オプション： <ul style="list-style-type: none"><li>JDF / JMF コネクションオプションにより、KODAK プリントコンソールからジョブ及び CTP の稼働状況を提供可能</li><li>KODAK Mobile CTP Control App で、CTP 出力状況の遠隔監視及び再出力操作が可能</li></ul>	
イメージング仕様		
	TRENDSETTER Q400	TRENDSETTER Q800
解像度	標 準     : 2,400 / 1,200 dpi オプション : 2,540 / 1,270 dpi (W スピードは除く) 高解像度オプション : 4,800 または 5,080 dpi (W スピードは除く)	
最大スクリーン線数	AM : 最大 450 lpi (標準)    FM : 25 / 20 / 10 ミクロンの KODAK STACCATO スクリーニング (オプション)	
最大プレートサイズ <sup>※4</sup> (ドラム円周方向 × 軸方向)	SA : 838×990 mm <sup>※5</sup>	SA : 838×1,143 mm <sup>※5</sup> AU / AL / SCU / MCU : 838×1,118 mm
最小プレートサイズ <sup>※4</sup> (ドラム円周方向 × 軸方向)	SA : 267×215 mm AU / AL / SCU / MCU : 330×270 mm <sup>※6</sup>	SA : 267×215 mm AU / AL / SCU / MCU : 330×270 mm <sup>※6</sup>
最大イメージエリア (ドラム円周方向 × 軸方向)	827.9×990 mm	SA : 827.9×1,143 mm AU / AL / SCU / MCU : 827.9×1,118 mm
外形寸法／重量		
外形寸法(高さ × 幅 × 奥行) ／重量	SA   : 160×200×120 cm / 650 kg AU   : 170×200×128 cm / 762 kg AL   : 184×200×128 cm / 796 kg	SCU   : 186×233×231 cm / 1,158 kg MCU   : 191×233×254 cm / 1,837 kg インラインパンチオプション : 102×151×120 cm / 177 kg ※プレート回転オプションのロングアンロードテーブルは、高さ 210cm で、奥行は 53cm 長くなり、重量も 10kg 加算されます。

TRENDSETTERはクラス1のレーザー製品で、欧州のEN60825-1および米国の連邦規則21 CFR 1040.10-CDRHIに完全に準拠しています。

※1 シングルプレートローディングのみをサポート。デュアルプレートローディング (SCU / MCUはオプション)、回転搬送テーブルとの組み合わせは不可。

※2 生産性は、使用するメディアの感度で異なります。表中の数値は、感度120mJ/cm<sup>2</sup>のKODAKプレート使用時の場合です。

※3 生産性は、KODAKワークフローシステムを接続して出力した数値です。出力条件の詳細についてはKODAKの営業担当者にお問い合わせください。

※4 寸法精度は、0.15~0.3mmの標準プレート測定ゲージによる値で、0.15~0.2mmゲージ使用時には異なる数値となる可能性があります。

詳細についてはKODAKの営業担当者にお問い合わせください。

※5 SA / AU / ALは、標準でプレートサイズ最大450mm (軸方向) のデュアルプレートローディングをサポート。SCU / MCUはオプション。

※6 プレート回転オプション使用時の最小プレートサイズは383mm (ドラム円周方向)。マニュアルバイパス時の最小プレートサイズは305×215mm。

©2021 Kodak。Kodak、Prinergy、Sonora、SQUARESpot、Staccato、Trendsetter および Kodak のロゴは、Kodak の商標です。

[KODAK.COM/GO/CTP](http://KODAK.COM/GO/CTP)



コダック ジャパン

<http://www.kodak.co.jp>

〒140-0002 東京都品川区東品川4-10-13 TEL.03-6837-7285(営業代表)

大阪:050-3819-1266 名古屋:050-3819-1265 福岡:050-3819-1270

仙台:050-3819-1255 札幌:050-3819-1250

2021-06